

令和8年度 ミニトマト（アンジェレ）技術情報 No. 5

大船渡農業改良普及センター 電話：0192-27-9918 FAX：0192-27-9936



- ・摘心後も、過繁茂とならないよう、整枝、摘葉を行いましょう。
- ・夜温を確保するとともに、裂果の発生を防ぎましょう。
- ・栽培終了後の株はほ場で処分し、病害虫を持ち越さないようにしましょう。
- ・来年度の施肥設計のために、土壌分析を行いましょう。

1 栽培管理

（1）整枝管理

- ・主枝摘心後は、わき芽が発生しやすくなります。過繁茂にならない程度にわき芽かきや、わき芽の摘心を行いましょう。
- ・摘葉は、古い葉や病害罹病葉を中心に行います。

（2）温度管理

- ・気温が低くなると果実の肥大・着色が緩慢になります。
ハウス出入口やサイドの開閉により、夜間の温度 12℃以上を確保します。

《裂果対策》

- ・秋期の裂果は、結露した水分がコルク層から吸収されることで生じます。
低温で果皮が硬いの、水分を吸収して果実内部が肥大し、裂果となります。
- ・朝早くにかつ徐々にハウスを開け、果実とハウス内気温の温度差をなくするとともに、湿度が低下することで結露と裂果の軽減が図られます。

表1 温度管理の目標

	目標温度	備 考
日中	25～28℃	3 5℃以上で落花の増加
夜間	12℃	8℃以下で着果不良

2 圃場の片付け、土壌分析

（1）ほ場の後片付け

- ・病害虫の次年度持越しを防ぐため、栽培終了後の株は抜き取り、圃場外へ持ち出して処分しましょう。
- ・すすかび病や斑点病が多発した圃場では、支柱やネットなどに付着している病原菌が次作の発生源となります。薬剤による資材消毒を実施しましょう。

【資材消毒薬剤の例】：ケミクロン G（主成分：中性次亜塩素酸カルシウム）※メーカー資料より
本剤はさまざまな病原菌（糸状菌、細菌、ウイルス）に対し有効です。

＜使い方＞

- ・ 1,000 倍液 → 10 分間浸漬
500 倍液 → ジョウロ散布または瞬間浸漬
- ・ 使用後は十分水洗いするとともに、風通しの良い場所で乾燥させましょう。

＜注意事項＞

- ・ 作業をする時は、必ず保護メガネやゴム手袋をしてください。
- ・ 使用前にラベルやチラシをよく読み、使用方法を守りましょう。

(2) 気を付けたい病害虫

① トマト黄化葉巻病とタバココナジラミ

- ・ 近年、県内でもトマト黄化葉巻病（TYLCV）の発生が確認されています。このウイルス病を媒介するタバココナジラミは管内でも発生しており、コナジラミ類が多発している圃場では、TY アンジェレがウイルスを保毒している可能性があります。
- ・ コナジラミ類が多発したハウスでは、栽培終了時にハウスを1カ月程度密閉し、作物（雑草含め）をすべて枯らしてから持出处分しましょう。



図1 トマト黄化葉巻病に感染した
トマトの生長点

* 全農ブランドトマト栽培手引きより引用

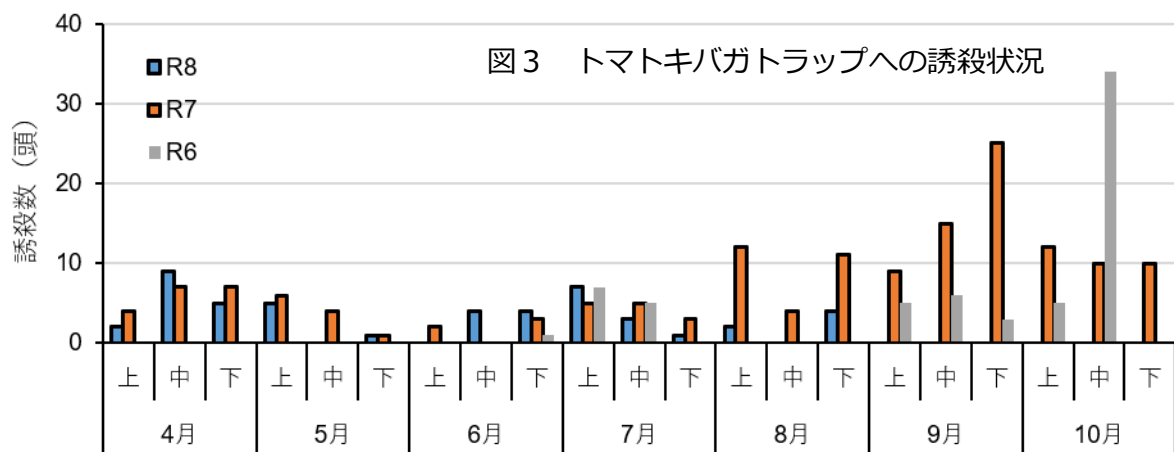


図2 タバココナジラミとオンシツコナジラミの違い(成虫と蛹)
※いずれも左がタバココナジラミ

* 診断に役立つ埼玉の農作物病害虫写真集より引用

② トマトキバガ

- ・ 9/4 現在のトラップ誘殺状況は図3のとおりです。例年、9～10月に増加する傾向がありますので、防除暦を参考に引き続き防除を徹底してください。



(3) 土壌分析の実施について

- ・ 来年度の施肥設計のために、土壌分析を行いましょ。JA おおふなとトマト生産部会員の皆さんは無料で実施することができます。詳細は JA おおふなとへお問い合わせください。

★いわてアグリベンチャーネットメールサービス会員募集中

農作物技術情報や農村地域の情報を幅広く提供する岩手県公式サイト「いわてアグリベンチャーネット」のメール会員を募集します。登録方法は以下のホームページをご覧ください。

URL: <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/maillinglist.html>

★9月15日～11月15日は秋の農作業安全月間

農業機械の基本操作を守り、無理のないスケジュールで作業を行いましょ。

令和8年度スローガン『「これくらい・・・」少しの油断が事故のもと 初心忘れず安全作業』